

会議顛末書

						記 録 者	徳安 柚花	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
件 名		令和 7 年度第 1 回龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議						
年 月 日		令和 7 年 7 月 24 日（木）						
時 間		午前 10 時～12 時						
場 所		龍ヶ崎市立中央図書館 2 階 鑑賞室						
出 席 者		【委員】 飯塚委員長、伊東委員、福岡委員、石塚委員、下田委員、中村委員、長谷川委員 【図書館指定管理者】 湯田館長 【龍ヶ崎市】 〈文化・生涯学習課〉松崎課長、清水補佐、由利会計年度職員、記録者 〈教育総務課〉寺田補佐 〈指導課〉小林教育監 〈こども家庭課〉木村補佐、高倉主査			傍 聴 人 数		0 人	
事務局 （記録者）		1 開会 会議の成立（10 名の委員のうち 7 名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第 6 条第 2 項に規定している委員定数の過半数以上の出席）						
松崎課長		2 あいさつ						
事務局 （記録者）		（委員の紹介） （事務局、担当課等の紹介）						
議 長		3 議 事 ※条例第 5 条第 2 項により、飯塚委員長が会議の議長を務める。 （議事録署名人として福岡委員を指名。各委員異議なし） それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和 6 年度取組実績報告」について、担当各課等より説明をお願いします。						
担当各課等		（資料に基づき説明）						

議 長	それでは、委員の皆さんから質問や発言をいただきたいと思います。また、各担当課の皆さんからも、説明した内容の補足など、遠慮なくご発言いただければと思っております。それでは、長谷川委員。
長谷川委員	2 ページの電子図書館の充実についてお伺いします。達成目標に対して実績がかなり多くなっていますが、これは様々なイベントを開催した結果なのか、中高生からのリクエストが多かったからなのか、中高生も電子書籍ならタブレットで試しに読んでみようというニーズがあったのでしょうか。
事務局 (記録者)	ご質問ありがとうございます。図書館の指定管理者が今年度から変わりましたので、昨年度のことについては事務局からお答えします。特に中高生からの電子書籍リクエストが多かったことも影響していますが、図書館の方でも積極的にこの目標以上に電子書籍を充実させようという取り組みがあり、こうした結果になりました。
議 長	文化生涯学習課、清水補佐。
事務局 (清水補佐)	ただいま電子図書館について触れましたが、TRC からの提案により、今年度中に電子図書館システムの変更を検討しております。もちろん、小さい子どもたちと親とのコミュニケーションが大切であり、インターネットに触れすぎると良くないという意識も強く持っています。しかし、電子図書館に関しては、特に本から離れている中高生に少しでもたくさん本に触れてもらえるようにするため、システムの変更に向けて TRC と相談しているところです。
議 長	ありがとうございます。下田委員、お願いします。
下田委員	本日欠席の佐子川委員から、その電子図書館についてお聞きしたいと聞いています。電子図書館について取り組むとありますが、低年齢層にはやはり紙の本の方が良いのではないかと思います。市と図書館はどう考えているのかということをお伺いしたいということでした。しかし、今のお話によると、主に中高生をターゲットに考えているとのことですので、低年齢の小学校低学年向けの電子書籍は増やさないという認識でよろしいでしょうか。
議 長	お願いします。
事務局 (清水補佐)	明確に決まってはいませんが、特に中高生にとってはタブレットの中に本を用意することで読書のきっかけになるとと思いますので、中高生に向けて、電子書籍を各学校の朝読書の時間等で活用してほしいと考えています。
議 長	ありがとうございます。こちらについてもぜひご意見ください。 きっかけとしての電子書籍ということですが、ポイントは、それをどう与えるかということだと思います。この部分について、図書館としても力を入れる

議 長	必要があるかもしれません。単に電子図書を与えて自由に読ませる形ではなく、例えば親子で一緒に読んでみましょうとか、読んだ後に感想を話し合いましょうとか呼びかけたり、啓発的なチラシなどを配布したりする必要があると思います。電子書籍のすべてを否定したり禁止したりするのではないですが、タブレットに読書を任せて親は関与しないというのはよくないと思います。 このように電子図書の活用方法について検討されれば、より効果的になるのではないのでしょうか。今回新しく館長も変わられたので、これまでのことはよくわからないかもしれませんが、ぜひよろしくお願いいたします。 他にいかがでしょうか。石塚委員、お願いします。
石塚委員	市立図書館による子ども向けイベントの開催について、令和 5 年度の達成目標は 5 回でしたが、実績は 8 回と大変良好でした。これには、実行にあたってのさまざまな工夫があるのではないかと思います、その具体的な工夫についてお聞きしたいです。
議 長	それでは、お願いしてもよろしいでしょうか。
事務局 (記録者)	指定管理者の方でも、子ども向けイベントにかなりの力を入れています。実績の方に「スペシャルたつのこお話タイム」というイベントがありますが、こちらはほかのおはなし会と比べて少し年齢層を上げた小学生向けの事業になります。これまで図書館での読み聞かせイベントに小学生が参加することが少なかったため、「スペシャル」としてプレゼントを用意し、付加価値をつけることで、より多くの参加を募るようにしました。その結果として、イベントの開催数が増え、子どもの参加も増えている状況です。
議 長	石塚委員、いかがでしょうか。
石塚委員	小学生の参加が増えたことは、本に触れる機会が増えたということでもあると思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございます。
議 長	はい、ありがとうございます。どうぞ、伊東委員。
伊東委員	同じく 3 ページのイベントについて、提案があります。夏休みに小学生が集まり、にぎやかな雰囲気を作り出せるような取り組みがあれば良いなと感じています。令和 6 年度に実施された夏休みの小学生向けの取り組みは重要な実績であり、これを踏まえて、来年、再来年も多くの小学生が集まる図書館に成長してほしいです。 また、小学生だけではなく、未就学の子どもたちについても同様です。特に夏の日中に行くところがありません。図書館は本を読む場所ですが、私が幼少期にはクーラーが家に 1 台しかない時代でしたので、涼しい場所として図書館に行くものでした。初めは図書館に涼みに行ったとしても、本を読んだり勉強したりするきっかけになるのではないのでしょうか。

伊東委員	子どもたちが気軽に来られるような講座や取り組みがあれば良いのではないかと思います。せっかくイベントが増えているのですから、より充実した内容にしていきたいと思っています。
議 長	伊東委員、ありがとうございます。その調子で皆さんもお願いします。
事務局 (清水補佐)	子どもの居場所についてのお話がありましたが、読書に関わる場所では、地域ごとにコミュニティセンター図書室が設置されているほか、土日にはたつのこ山に子どもたちの居場所が設けられています。最近の市の取り組みとしては、長山コミュニティセンター図書室の一角を改造して、子どもたちが集えるスペースが作られました。 図書館ももちろん涼しく滞在できる施設ですが、サプラの北竜台分館については、少し話をする程度であれば大丈夫な場所になっています。このような施設を子どもたちに利用してもらい、少しでも本に触れる機会を増やしていただければと考えています。
議 長	下田委員、どうぞ。
下田委員	先ほど子供向けイベントの実績が増えたというお話がありましたので、その件について補足させていただきます。私が読み聞かせボランティアとして担当しているこのスペシャルおはなし会とスペシャルたつのこおはなし会は、令和6年度から急に増えたわけではありません。たつのこおはなし会は13歳以上を対象にしたイベントです。すでに15年ほど続けていますが、子どもの参加が少なく、準備をしても1人だけということもありました。 それで、令和5年度からお土産もつけたスペシャルお話会を始めました。これにより、参加した子どもたちにリピーターになってもらい、毎月のお話会に来てもらえることを期待しています。実際に参加した子どもたちがリピーターになり、毎月のたつのこお話会に定着している子もいます。 また、子どもの居場所に関して、先ほどご説明いただいてありがたいと思っています。実は私たちボランティアでも、サプラのスペースをもっと有効活用できないかと考えていました。せっかくサプラに滞在型図書館をつくっても、大人がテレワークスペースで働いているために気が引けることがあります。そのため、のびのび遊んでも大丈夫というメッセージをもっと親や小さな子どもたちに伝えられるよう導いていただければ、小学生たちも訪れて自由に遊ぶことができると思います。 また、スペシャルおはなし会は中央図書館でのみ行われているため、私としては他の場所でも開催したいと思っています。特に幼児向けに、お母さんたちの居場所としてもサプラの図書館を活用していきたいです。
事務局 (清水補佐)	ご意見ありがとうございます。北竜台分館は大人の方々が多く利用されています。人通りもあり、常に施設内で音楽が流れていますので、話をする程度であれば問題ありませんが、騒ぐとなると少々難しいのかもしれないです。

事務局 (清水補佐)	奥の方にはキッズスペースがありますので、そのスペースを利用するのはまったく問題ありませんが、騒ぐことについては少し節度を持っていただく必要があると思います。
議 長	こちらのご意見を受けて、サプラの使い方について湯田館長からお話をいただきたいと思います。
湯田館長	貴重なご意見ありがとうございます。サプラでのお話会は確かにこれまで実施されていなかったと思いますが、非常に良いアイデアだと感じました。定期的にお話会を開催することによって、参加しやすくなると思います。今後、このような定期的なお話会をぜひ検討していきたいと思います。
飯塚委員長	貴重なご意見ありがとうございます。他にもご遠慮なくお話を伺えればと思います。福岡委員、どうぞ。
福岡委員	今の子どもの居場所やお話会について、少しお話したいことがあります。私自身、2年前に0歳の子どもを連れて1回だけこぐまちゃんのお話会に伺ったことがあります。子どもは図書館デビューでしたので緊張しましたが、そこで本を上手に読んでいただいたことを今でも覚えています。他の人に読み聞かせしてもらうことで、子どもにとっても刺激になりましたし、私自身もどのように読めばいいのか学ぶことができました。 ただ、参加者は私ともう一人の親子だけで少し寂しく感じました。また、そのおはなし会が終わった後、1階の絵本コーナーにも行きましたが、子どもがぐずってきたので、他の人の迷惑にならないようすぐに出なくてはという気持ちになりました。 図書館には授乳室もあるなど、環境としてはとても良いと思いますので、鑑賞室の使い方を少し工夫してもらえると良いのではないかと思います。もし子どもがぐずっても、上のスペースで少し体を動かせる場所があれば、利用しやすくなると思います。現在、子どもが2歳になり、よく利用させていただいていますので、継続して通いたいと思える図書館であってほしいです。どうもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
議 長	今のお話を受けていかがでしょうか。
湯田館長	貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちのおはなし会が終わった後、日によっては赤ちゃん親子で交流できる時間も設けているのですが、それがなかなか認知されていない部分もあると思います。今後は、そういった方々が安心して利用できる場所や交流の場を設けていきたいと考えています。
議 長	もう少し続けたいと思いますが、いかがでしょうか。 7ページのみんなにすすめたい1冊の本推進事業の実施について、目標と比べた実績がどちらもずっと下回っていますので、その理由や現状について少し

議 長	ご説明いただけないでしょうか。また、中村委員、学校の先生という立場から実際の学校生活についてもお話しいただければと思いますが、まず先にお願いしてもよろしいですか。
中村委員	私は低学年の担任のほか、国語主任をしております。小学校でどのように読書の取り組みを行っているのかについてお話しします。 まず年度の始めに、全学年を対象に図書室の使い方についてのガイダンスを学校司書が行います。また、低学年は週に 1 回、国語の時間に図書室に行くことになっており、読み聞かせをしてもらいます。司書が読み聞かせを上手に行うため、子どもたちは本当に集中して聞いており、家庭で本を読まない子どもでも非常に楽しんでいます。 本を借りる際には、読書記録に書き込むよう指導しています。みんなにすすめたい 1 冊の本推進事業は 4 年生からの取り組みですが、1 年生のうちからその習慣をつけるように取り組んでいます。朝読書の時間のほか、本の貸出しや行事に合わせたイベントもたくさん実施しています。低学年向けの本ではすぐに本を読み終わってしまいますので、教室に学級文庫も用意しています。この学級文庫の本は、一方的に届けられるのではなく、子どもたちが選んだものです。 今お話ししたほか、小学 5、6 年生の図書委員が図書室を楽しく使うために活動し、おすすめの本の掲示や本の整頓を行っています。昨年、図書委員会で初めてビブリオバトルというイベントを実施し、クラスのおすすめの本を給食時間に放送し、児童に投票をしてもらいました。 しかし、上の学年になると、きちんと記録を取ることが難しい状況にあります。また、本が好きな子とそうでない子に分かれてきて、おうちでの過ごし方として本を読むよりもゲームや YouTubeなどを好むなど、娯楽の多様化により、本以外の活動に子どもたちが向かってしまう傾向があります。担任や司書も読書活動を進めていますが、なかなかみんなにすすめたい 1 冊の本推進事業の達成には現れない部分もあるかもしれません。
議 長	ありがとうございます。とても良いお話を聞かせていただきました。皆さんお一人お一人の発言も、しっかりと準備してくださっているのも、大変ありがたいと思います。では、指導課の方、お願いします。
指導課 (小林教育監)	私は昨年まで主に中学校の学校現場にいました。今、中村先生が小学校について話してくれましたが、中学校でも子どもたちの読書に対する興味がどんどん下がっていると肌感覚で感じます。40 年近く教員をしてきて、昔よりも実に多くの工夫がなされていますし、学校図書館の環境も本当に素晴らしいものになっているのに、なぜそういった状況となっているのかというと、中村委員がおっしゃったように、いろいろな刺激が他にありすぎることが課題だと思います。中学校でも、図書委員会などが読書を推進するイベントを企画したり朝の読書活動を実施したりしていますが、教員の働き方改革の影響で学校の日程が厳しくなり、休み時間が減少しているのが実情です。そのため、自由に図書室に行き、本を持ち帰る時間を確保するのが難しくなっています。

指導課 (小林教育監)	中学校でも国語の授業の中で読書の時間を設ける工夫を各学校で行っていますが、その効果が結果に表れにくいことが悩みです。図書館司書と相談しながら、何とか子どもたちに興味を持ってもらえるよう努め、教育委員会としても今後話ししていきたいと思います。
議 長	ありがとうございます。今日は具体的な話を聞けて非常に良い内容を共有できたと感じています。単純に目標達成しなかったから駄目というわけではなく、子ども全体に読書をどう広げていくかを考えていきたいと思います。 今回の実績報告には含まれていないことですが、就学前に絵本にしっかり触れた子どもは就学後に読書をしやすいという側面があると思います。この観点から就学前の絵本の重要性を意識できればいいと思っていますが、伊東委員、いかがでしょうか。
伊東委員	就学前の子どもの読書の基盤は、親がどれだけ本を読んであげるか、どれだけ一緒に読むかが重要だと思いますが、学校現場と同様、園でも親が子どもに本を読んであげる時間が非常に少なくなっていると感じています。こういった状況が小学校、中学校、高校と繋がっていくのではないかと思います。 しかし、現状では大半の育児がスマートフォンに依存しています。朝の登園時から子どもたちはスマートフォンを触り、車や駐車場から玄関までの間もスマートフォンが手放せないというのが、現場で感じている実情です。
議 長	ありがとうございます。竜ヶ崎幼稚園の3歳から5歳の子どもたちの個人面談の際、スマホの使い過ぎが子どもに与える悪影響について注意喚起をする資料を保護者に配りました。現状、初めて施設に子どもを預ける親だと、スマホを持たせることになんの疑問も感じていないようです。スマホを持たせればスムーズに園に行ってくれると思ってしまうのも無理はありませんが、保護者への啓蒙が非常に重要だと感じています。 そこで、ぜひともこども家庭センターや龍ヶ崎市として、絵本や読み聞かせの大切さを特に若い保護者にどう伝えていくかを考えていただき、何らかのチラシを作るなどしていただければと思います。よろしく願いいたします。 それと、1つ質問があります。6ページに「読書の木」の取組みについての記載がありましたが、これはどのような内容ですか。非常に興味があります。
湯田館長	こちらは、子どもたちが読んだ本の感想を葉っぱの形をした紙に書き、それを紙で作った木の幹にどんどん貼っていくという形で、葉っぱを増やすことで木を育てる取り組みです。これは現在、1階の階段下でも行っていますので、ぜひご覧いただければと思います。
議 長	面白そうですね。学校でもいろいろな工夫がされていますし、図書館でも新しい試みがあるとのこと、皆さんに広く周知されるといいですね。ありがとうございます。他に皆さん、どうぞ。では、下田委員。

下田委員	もう一点、本日欠席の佐子川委員から意見を預かっていますので、発言させていただきます。ブックスタートは現在、単に本を渡すだけの取組みとなっていると思いますが、以前は、読み聞かせを実施しながら絵本パックを渡す取り組みをしていました。ブックスタート時での読み聞かせの重要性を皆さんに強調していただきたいとのことです。コロナ禍も終わったことですし、新しく多世代交流センターも完成しましたので、健診の際に読み聞かせの具体的なアドバイスを伝え、さらにスマホ漬けがいかにも良くないかを分かりやすく説明したチラシを同封するなどの取り組みがあれば良いのではないかと思います。
議 長	どうぞ、お願いします。
湯田館長	ご意見ありがとうございます。ブックスタートはおっしゃる通り、感染症の影響でしばらくボランティアの方々との活動を行っていませんでした。しかし、今年度中にはボランティアの方々にも改めてお願いし、読み聞かせやチラシ配布などの活動を行う予定です。
議 長	はい、ありがとうございます。他に何か意見はございますでしょうか。 もしなければ、逆にこの担当課の皆さんが今まで私たちの意見をお聞きになっ ていて感じたことを少し発言していただきたいと思います。こども家庭センターからお願いします。
こども家庭 センター (木村補佐)	先ほど文化・生涯学習課が紹介した子ども居場所づくりについてですが、7月22日から龍ヶ岡公園管理棟と長山コミュニティセンター図書室を利用して事業が始まったところです。長山コミセンから、遊んでいる声がうるさいと大人から子どもへの声掛けがあったと報告がありました。図書館など子どもの居場所では、大人と子どもとの対立が生まれやすいと感じています。福岡委員のおっしゃったように、子どもがうるさくしてしまうからと、せっかく図書館に来たのに遠慮して帰ってしまうのは残念なことだと思います。 私は子どもの居場所づくりを担当していますので、大人も子どもも共存できるよう改めてご意見を持ち帰って共有したいと思います。
こども家庭 センター (高倉主査)	私は保健師として乳幼児健診を担当しています。先ほどご意見がありましたとおり、タブレットやスマホが育児に大きな影響を与えていると考えています。1歳6ヶ月児健診で既にスマホで遊んでいるお子さんも見受けられ、驚いています。健診の際には、スマホに育児をさせないでというチラシを配布していますが、まだ力が足りないと感じています。声掛けなどは保健師としても共有していきたいと思います。また、ブックスタートに関しては、3、4ヶ月児健診で図書館の職員が来て絵本を配布していますが、感染症対策のために読み聞かせはお断りしていましたが、ボランティアに絵本を読んでもらうことは重要だと思いますので、これについても、課に戻って再検討したいと思います。

指導課 (小林教育監)	私は小中学校の読書活動についてお話ししましたが、就学前の子どもに向けた取り組みについても多くの工夫がなされていることを知り、大変勉強になりました。学校では、子どもたちが引き続き読書活動に関心を持つよう、教育委員会として考えていきますので、どうぞよろしくお願いします。
教育総務課 (寺田補佐)	教育総務課の主な役割は、予算の確保や学校への配分、司書の労務管理などの実務です。本日貴重なお話を伺いまして、大変勉強になりました。学校図書室の読書活動はとても充実していると感じていますので、今後も有効に活用していただけるよう努めたいと思います。
文化・生涯学習課 (松崎課長)	本日は委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。担当課だけでは気づけない点が多々ありますので、今後、関係各課や図書館流通センターと連携し、より良い図書館サービスにつなげてきたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございます。
文化・生涯学習課 (由利会計年度職員)	子ども読書計画はソフト面に重きを置いた内容ですが、今回長山コミセンの改修に関する話も出ていることから、ハード面からみて何ができるのかについて考えさせられました。私は40年ほど前に13地区に公民館を作ってきましたが、その時に地域の人々で議論して作った図書室が、最近ではその地域から図書室が不要との声上がることも多いです。中央図書館には2階の鑑賞室がありますが、北竜台分館はキッズスペースとテレワークスペースとの兼ね合いの問題があると感じました。
文化・生涯学習課 (清水補佐)	本日は貴重なご意見をありがとうございます。図書館の利用者は高齢者か小さい子どもを連れた親か、という両極端であり、中高生や大学生に興味を持ってもらえるような施策が必要だと考えています。新たに就任された湯田館長と相談しながら進めていきたいと思っています。本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
湯田館長	私はこの3月に龍ヶ崎市に引っ越してきました、一番感じたのは、読書にアクセスしづらい環境であるということです。中央図書館の立地からしても、子どもたちが自分で来られる場所ではないと思います。そのため、私たちから出かけていかないと本に触れる機会は減ってしまうので、市立図書館では移動図書館の運用を計画しています。これは秋頃から稼働できると思いますが、人が集まる場所に出かけて本の貸し出しをしたり、お話をしたりといった活動を考えています。 先ほどご提案いただいたサプラ分館でのおはなし会なども、こちらから出かけていくことに繋がると思います。あらゆる活動を検討しながら、今年度の運営を進めていきたいと考えています。

文化・生涯学習課 (記録者)	私は入庁して３年目になり、初めて来たところが文化・生涯学習課でした。振り返ってみますと、私自身は読書に親しんできた方だと思いますが、そうなるにいたった周りの環境は当たり前でなかったことを、小中学校や就学前の話を聞いて強く感じました。読書をしない方々に向けてどうやって本を読んでもらうかについて、私自身勉強し、関係各課の皆さんと協力しながら進めていければと思っています。本日はありがとうございました。
議 長	ありがとうございました。結局、読書活動に関しては、委員の皆さん、関係各課のみなさんがそれぞれの場所で行き届くことが重要であり、それが一つにまとまったときに、子どもたちに届けられるのではないかと思います。これからは様々な立場の皆さんに集まっていただき意見をたくさん出していただければと思います。そして、それぞれが感じたことを持ち帰り、自分の活動に活かしていければと思っています。 最後にお伺いしますが、多くのご意見をいただいた中で、第４次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和６年度の実績報告について、承認をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	(異議なし)
	４ その他
議長	次にその他に移ります。事務局から連絡事項等ありませんか。
事務局	特にありません。
	５ 閉会
議長	他に連絡事項等がなければ、これで令和７年度第１回子ども読書活動推進委員会を閉会いたします。 慎重なご審議、ありがとうございました。

	令和7年7月24日に開催された龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和7年 月 日 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____		
要措置事項			
情報公開	公開		
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）